

## 信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2021年度上期調査)

### 定例調査

中小企業金融の動向を把握し、信用補完制度の円滑な運営に資するため、以下の各項目について調査を実施

#### 【中小企業向け貸出】

○中小企業向け貸出D.I.は、▲28.5と大幅に低下し、17期ぶりにマイナス。次期見込みは▲23.2とマイナス幅は縮小。

#### 【信用保証付貸出】

○信用保証付貸出D.I.は、▲47.7と大幅に低下し、3期ぶりにマイナス。次期見込みは▲44.4とマイナス幅はやや縮小。

#### 【信用保証付貸出における条件変更】

○条件変更D.I.は低下したものの、17.7と3期連続でプラス。次期見込みは23.9と上昇。

#### 【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

○代位弁済D.I.は上昇し、6.4と4期連続でプラス。次期見込みは15.9と上昇。

### 特別調査

コロナ禍における中小企業への融資状況や今後の経営支援等について調査を実施

#### 【中小企業に対する融資状況】

○2020年度下期末時点における取引先中小企業のうち、2020年度下期に融資を行った企業の割合は29.2%。  
○2020年度下期に融資を行った中小企業のうち、信用保証付き融資を利用した企業の割合は61.7%。また、下期における保証利用企業のうち、「新型コロナウイルス感染症対応資金」を利用した企業の割合は78.1%となっている。

#### 【中小企業に対する経営支援等について】

○今後、特に取り組み強化を図っていく予定の金融・経営支援策については、「事業計画や経営改善計画の策定支援、進捗状況のフォローアップ」が最多。  
○中小企業に対する金融・経営支援を行う際に、特に連携が必要であると思う関係機関等については、「信用保証協会」が最多。次いで「政府系金融機関（日本政策金融公庫等）」、「中小企業再生支援協議会」となっている。

<お問い合わせ先>

株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険分析グループ（担当：城所、新井田、今泉）

TEL：03-3270-2384 FAX：03-3242-0033

## <調査の要領>

調査時点	2021年4月
調査方法	郵送による記名式アンケート調査
調査対象	252の金融機関(都市銀行5、地方銀行62、第二地方銀行38、信用金庫120、信用組合27) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	235の金融機関(都市銀行5、地方銀行56、第二地方銀行33、信用金庫115、信用組合26)
回答率	93.3%

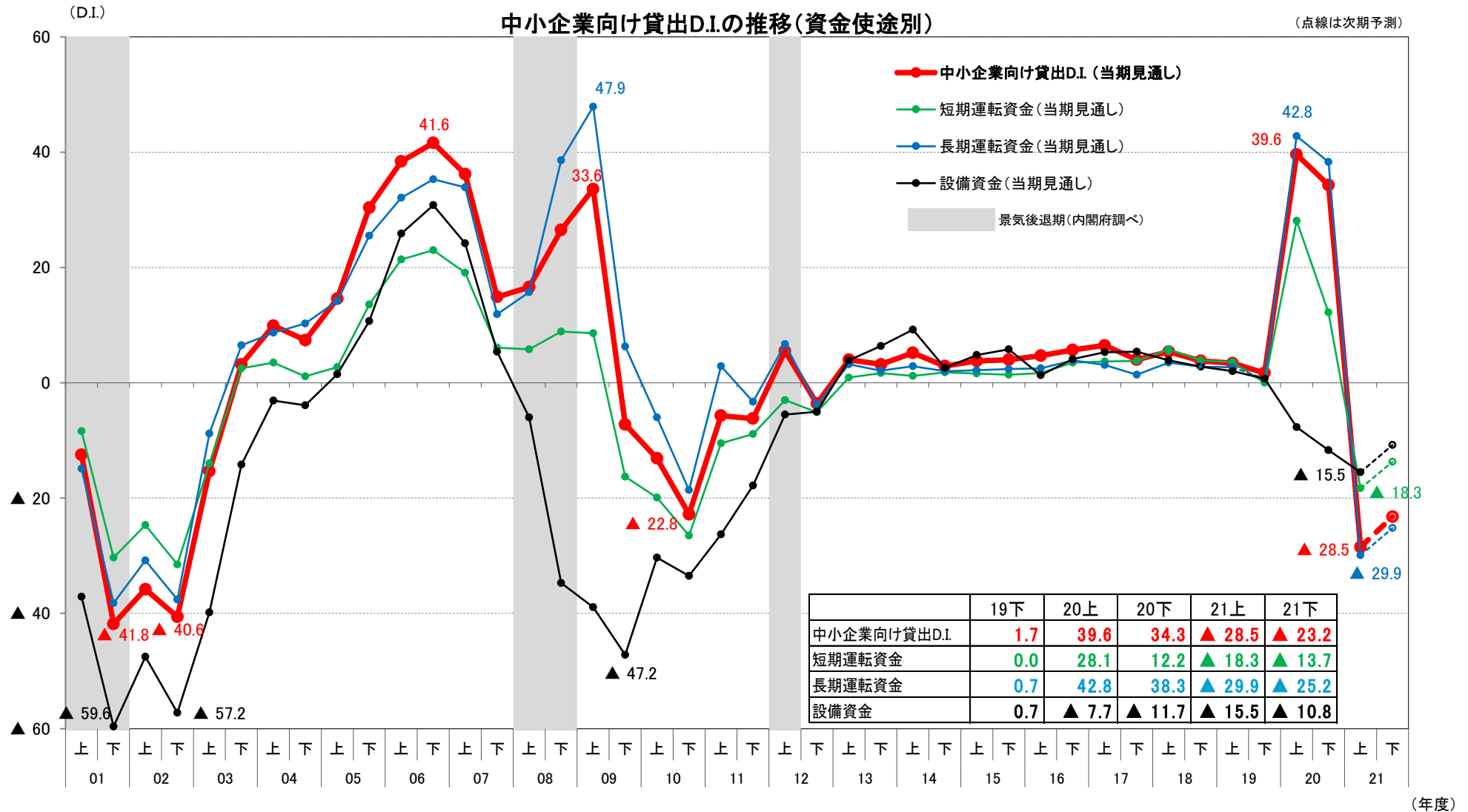
(注)  $D.I. = (\text{「増加」と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや増加」と回答した金融機関の割合}) - (\text{「減少」と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや減少」と回答した金融機関の割合})$ 。  
前年同期比での増減見通し。

(注) 各地域別の集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

東北・北海道【30/35】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
 関東甲信越【81/83】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野  
 東海・北陸【42/45】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井  
 近畿【31/35】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山  
 中国【17/18】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口  
 四国【9/9】: 香川、徳島、高知、愛媛  
 九州・沖縄【25/27】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄  
 (注) 【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

## 1. 中小企業向け貸出の動向について

- ◆ 中小企業向け貸出D.I.は、大幅に低下し、2012年度下期以来17期ぶりにマイナスとなった。次期はマイナス幅は縮小する見込み。
- ◆ 資金用途別にみると、長期運転資金及び短期運転資金は大幅に低下、設備資金はやや低下。

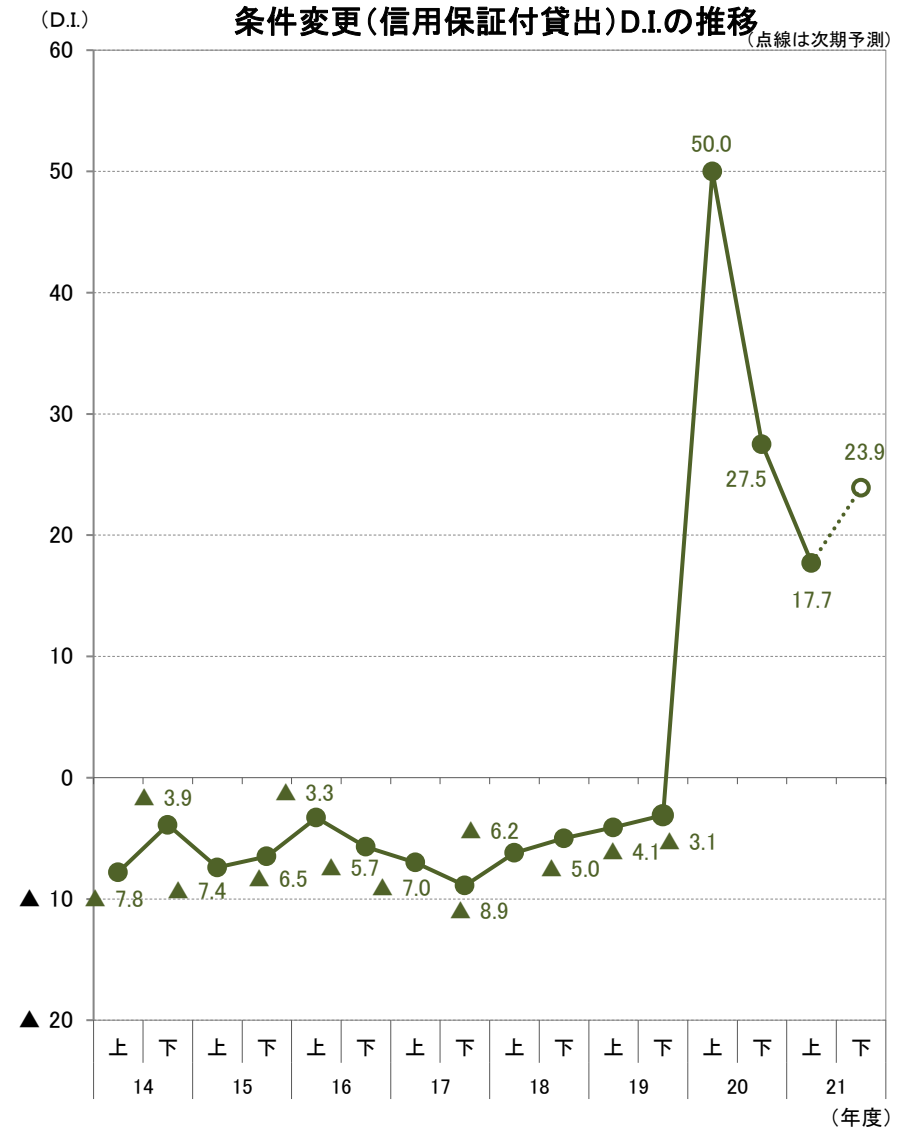
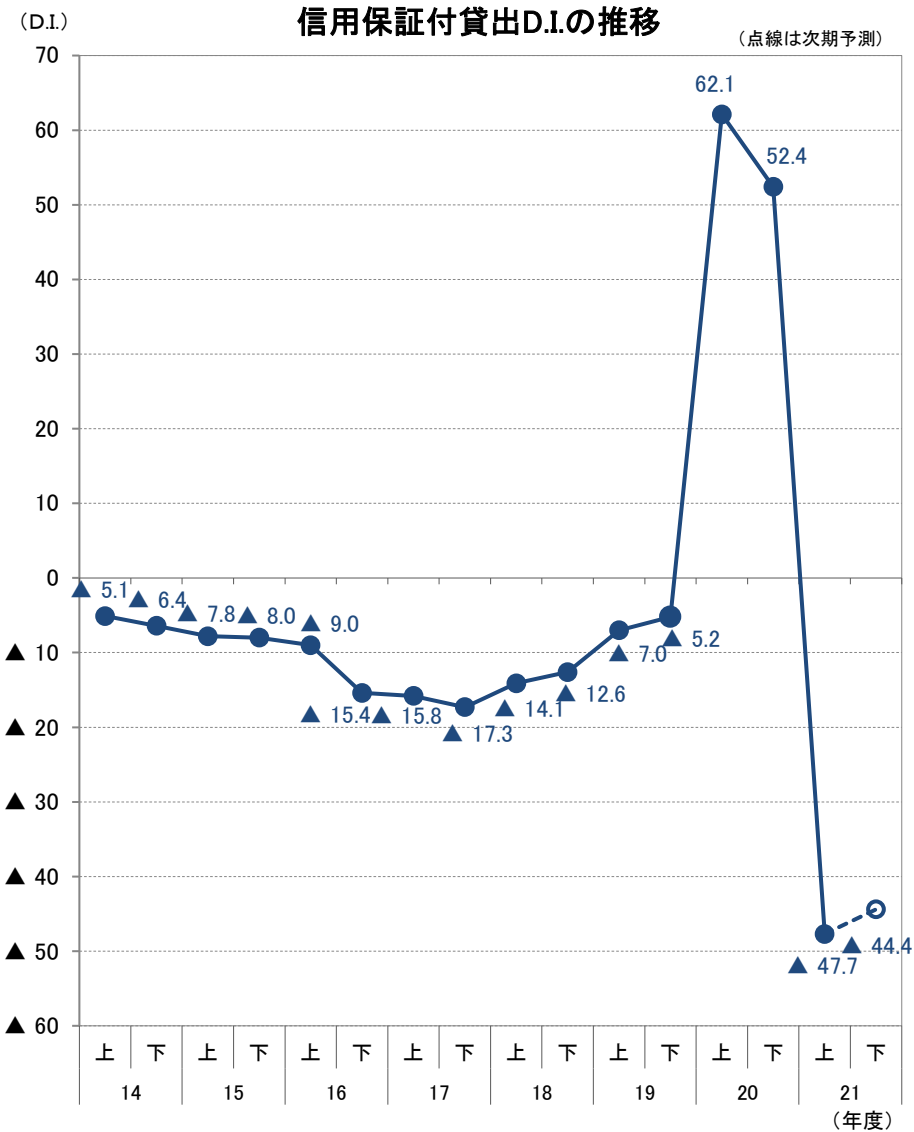


(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

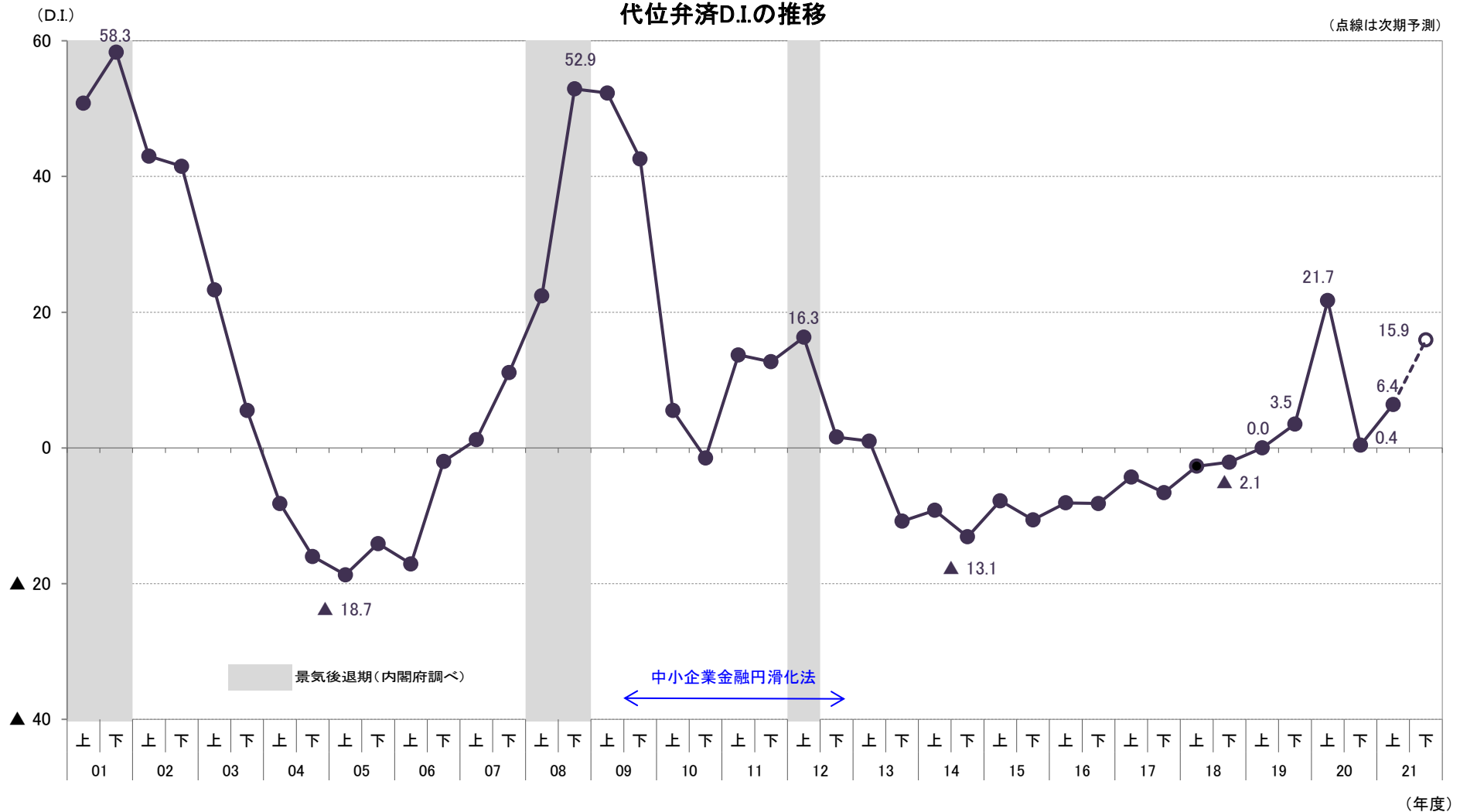
## 2. 信用保証付貸出の動向について

- ◆信用保証付貸出D.I.は、大幅に低下し、3期ぶりにマイナスとなった。次期はマイナス幅はやや縮小する見込み。
- ◆信用保証付貸出における条件変更D.I.は、低下したものの、3期連続でプラスとなった。次期は上昇する見込み。



### 3. 代位弁済の動向について

◆代位弁済D.I.は、上昇し、4期連続でプラスとなった。次期は上昇する見込み。



(注1) 2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

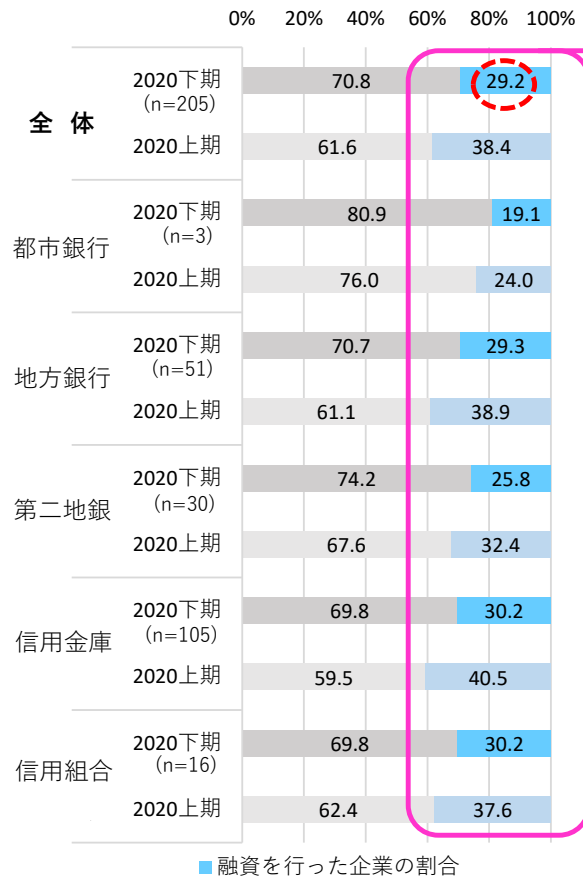
(注2) 2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

1. 2020年度下期の中小企業に対する融資状況

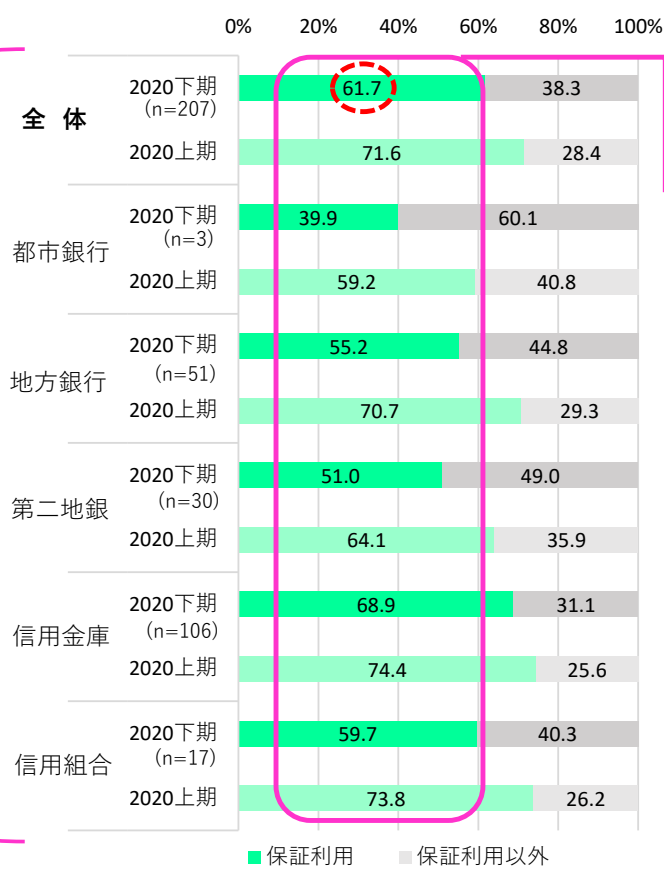
- ・2020年度下期末時点における取引先中小企業のうち、2020年度下期に融資を行った企業の割合は29.2%となっている。
- ・2020年度下期に融資を行った中小企業のうち、信用保証付き融資を利用した企業の割合は61.7%となっている。
- ・2020年度下期における保証利用企業のうち、「新型コロナウイルス感染症対応資金<sup>(※)</sup>」を利用した企業の割合は78.1%となっている。

※ 「新型コロナウイルス感染症対応資金」とは、2020年5月に創設された民間金融機関における実質無利子・無担保融資で、国が保証料補助・利子補給を行う制度。

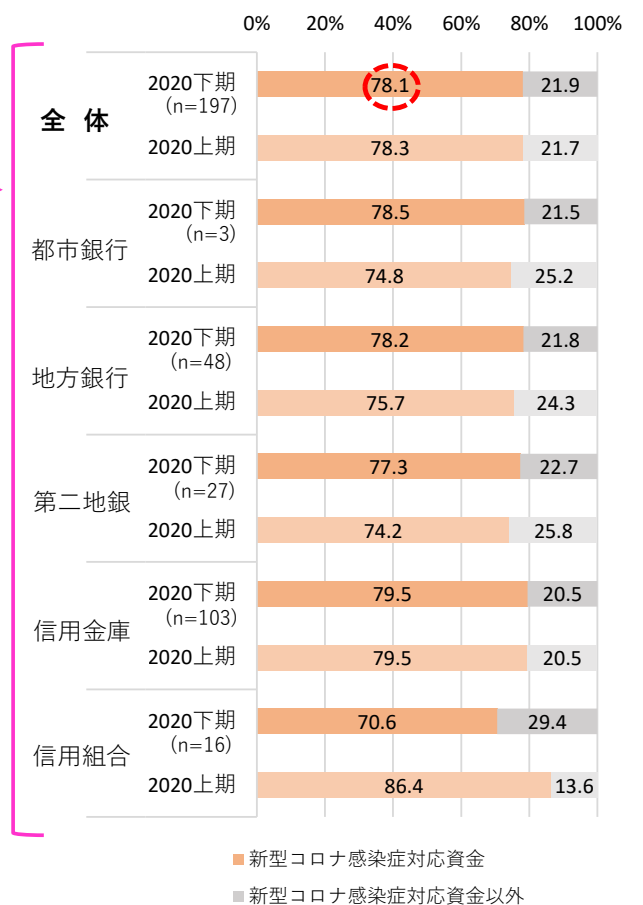
(1) 2020年度下期末時点において取引がある企業のうち、当期内に融資を行った企業の割合



(2) 2020年度下期に融資を行った企業のうち、保証利用企業の割合



(3) 2020年度下期における保証利用企業のうち、「新型コロナウイルス感染症対応資金」を利用した企業の割合



(注1) 2020年度上期は前回調査の結果である。

(注2) 上記(2)の保証利用企業にはプロパー支援を含む。

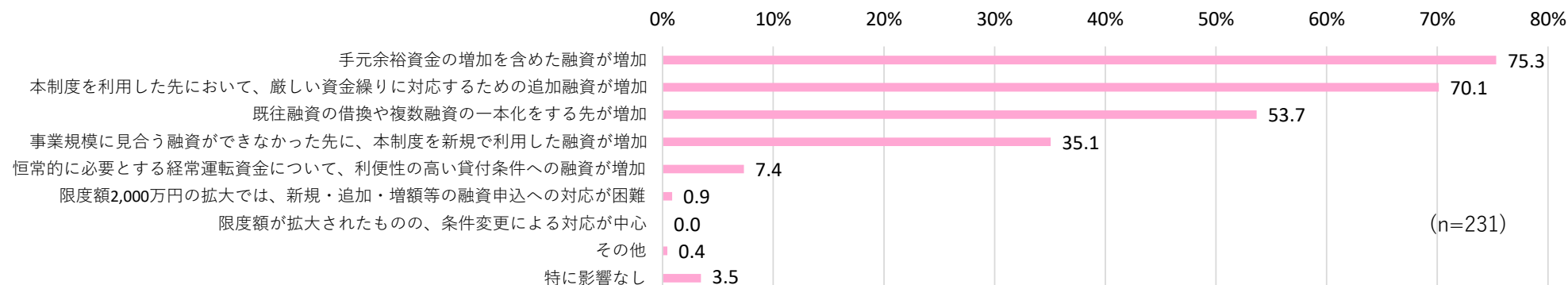
(注3) 上記(3)の「新型コロナウイルス感染症対応資金」を利用した企業の割合は、上期と下期で調査方法が異なるため、上期の結果は下期の基準に置き換えて算出したもの。

### 1. 2020年度下期の中小企業に対する融資状況(つづき)

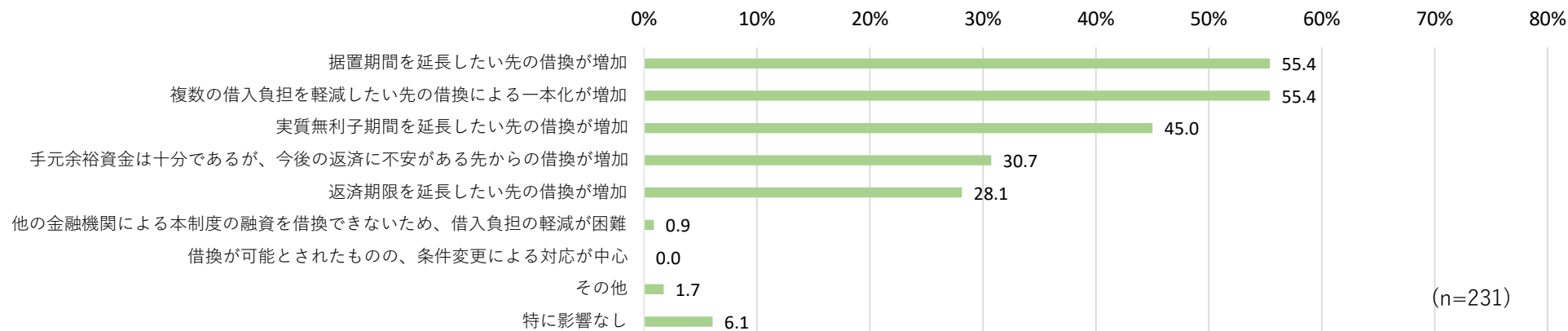
- ・「新型コロナウイルス感染症対応資金」の借入限度額が、4千万円から6千万円に拡大されたことによる影響については、「手元余裕資金の増加を含めた融資が増加」と「本制度を利用した先において、厳しい資金繰りに対応するための追加融資が増加」との回答がいずれも7割を超えている。
- ・「新型コロナウイルス感染症対応資金」の既往資金に係る借換要件緩和<sup>(※)</sup>の影響については、「据置期間を延長したい先の借換が増加」と「複数の借入負担を軽減したい先の借換による一本化が増加」がいずれも5割を超えている。

※ 本制度の既往資金について、同一金融機関に限り、本制度による借換が可能になったもの。

#### (4) 「新型コロナウイルス感染症対応資金」の借入限度額拡大(4千万円→6千万円)による影響



#### (5) 「新型コロナウイルス感染症対応資金」に係る借換要件緩和による影響



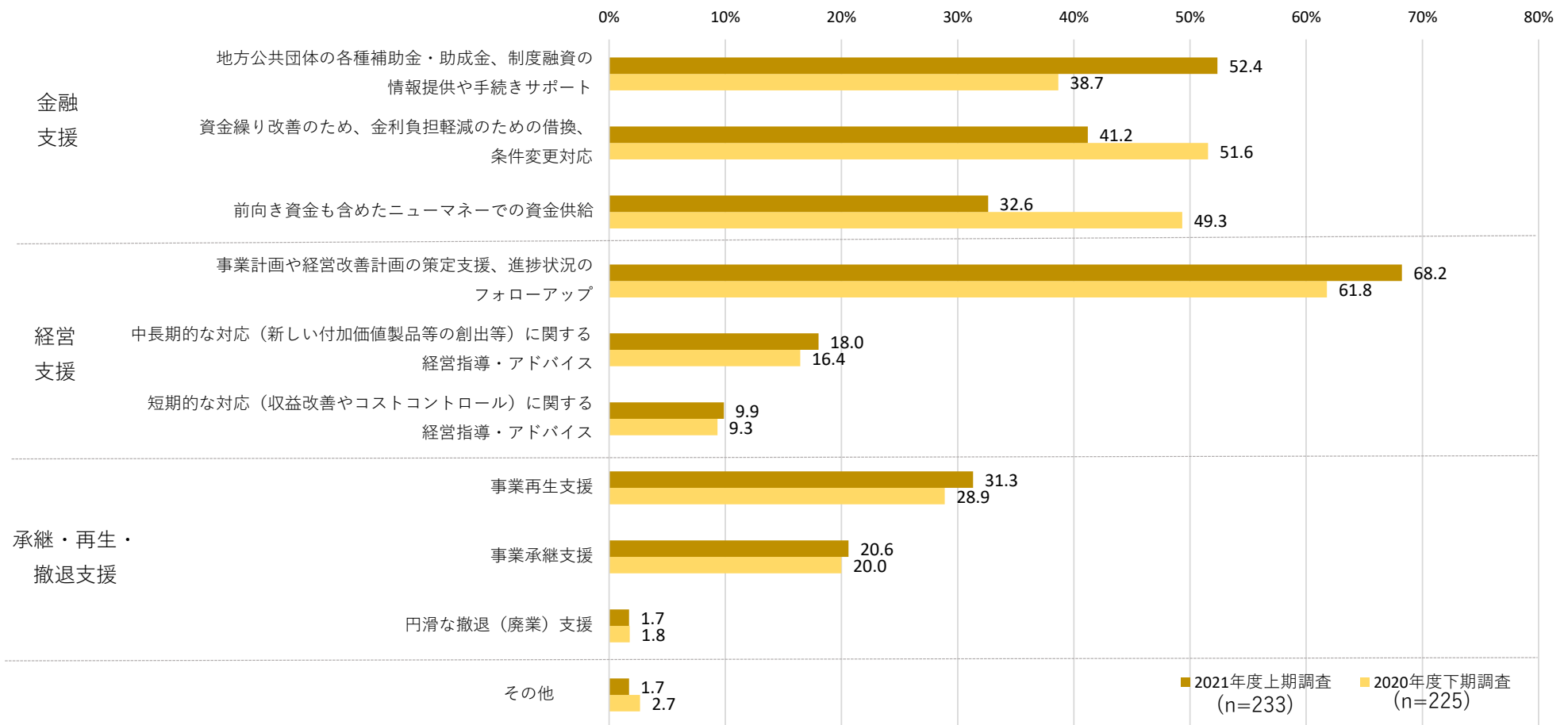
(注)上記(4),(5)は複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

## 2. 中小企業に対する経営支援等について

今後（当面1年程度）、特に取り組み強化を図っていく予定の金融・経営支援策をみると

- ・金融支援策では、「地方公共団体の各種補助金・助成金、制度融資の情報提供や手続きサポート」が最多となっている。
- ・経営支援策では、「事業計画や経営改善計画の策定支援、進捗状況のフォローアップ」が最多となっている。
- ・事業承継等支援策では、「事業再生支援」が最多となっている。

### (1) 今後、特に取り組み強化を図っていく予定の金融・経営支援策



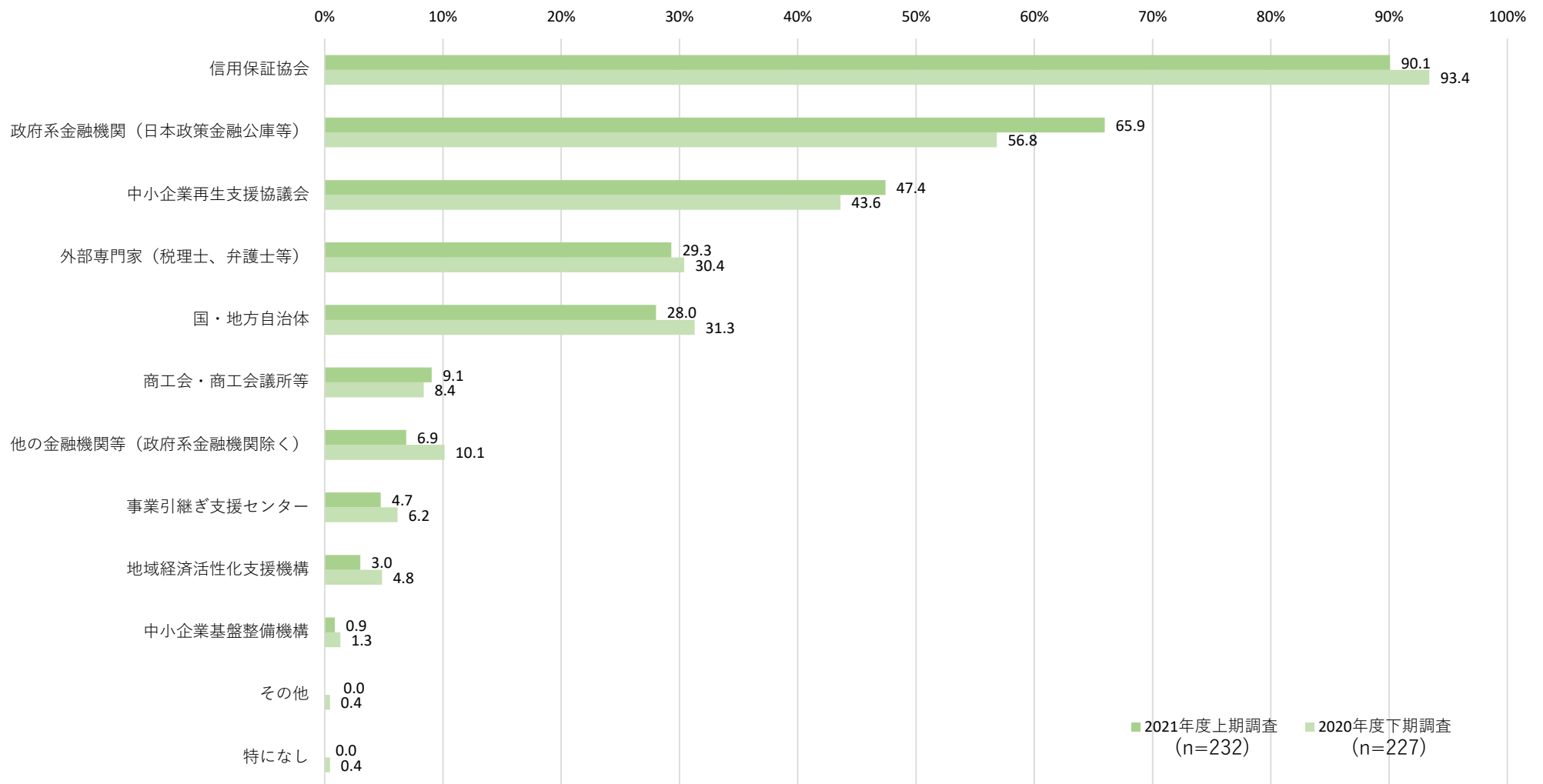
(注) 複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。



## 2. 中小企業に対する経営支援等について(つづき)

・中小企業に対する金融・経営支援を行う際に、特に連携が必要であると思う関係機関等については、「信用保証協会」が最多。次いで「政府系金融機関(日本政策金融公庫等)」、「中小企業再生支援協議会」となっている。

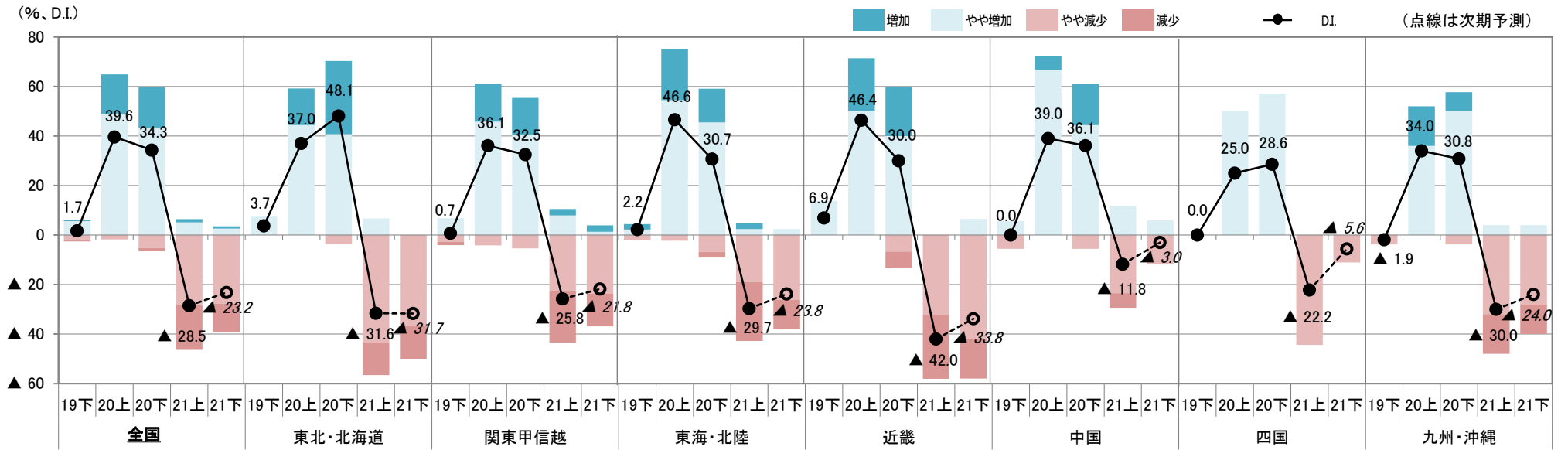
## (2) 金融・経営支援を行う際に、特に連携が必要であると思う関係機関等



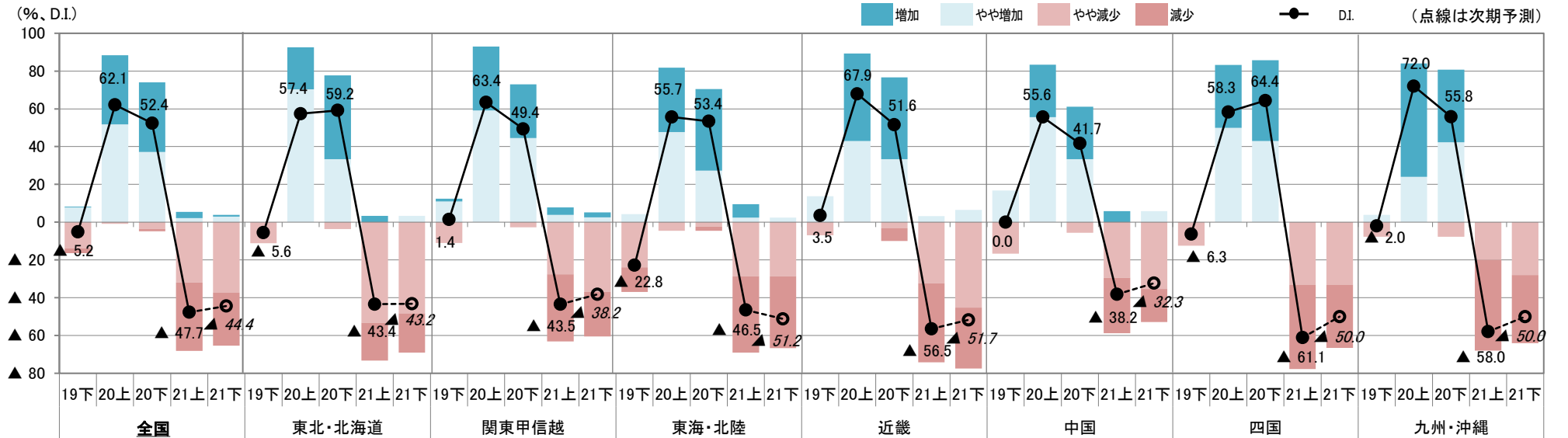
(注)複数回答(3つまで回答可)のため、合計は100%を超える。

# 参考編

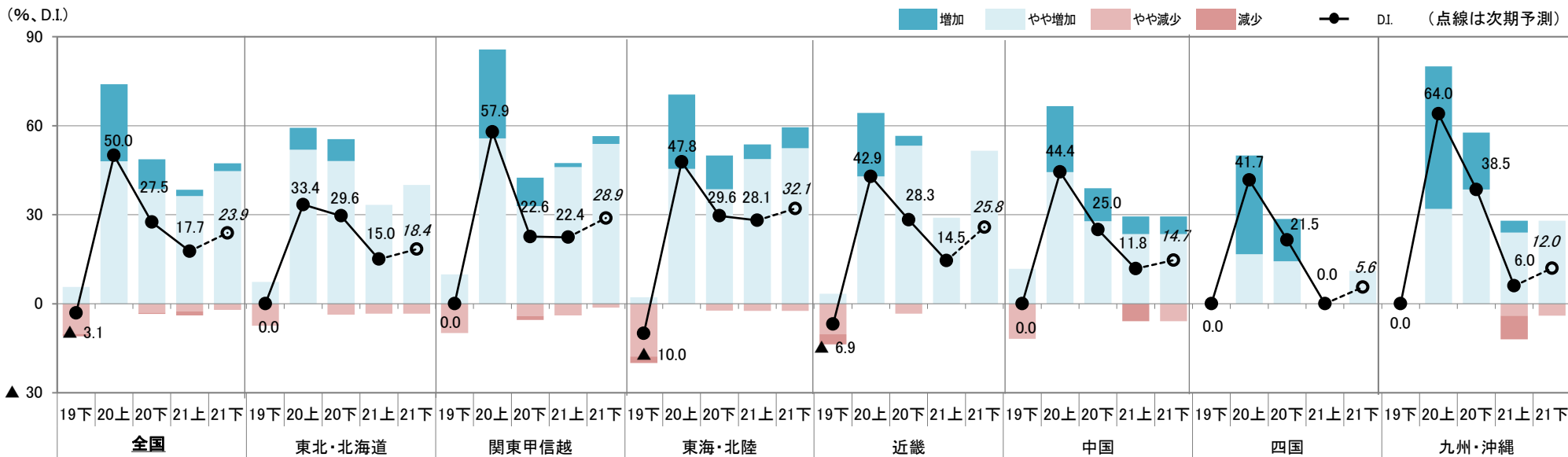
## 1. 中小企業向け貸出D.I.の推移【地域別】



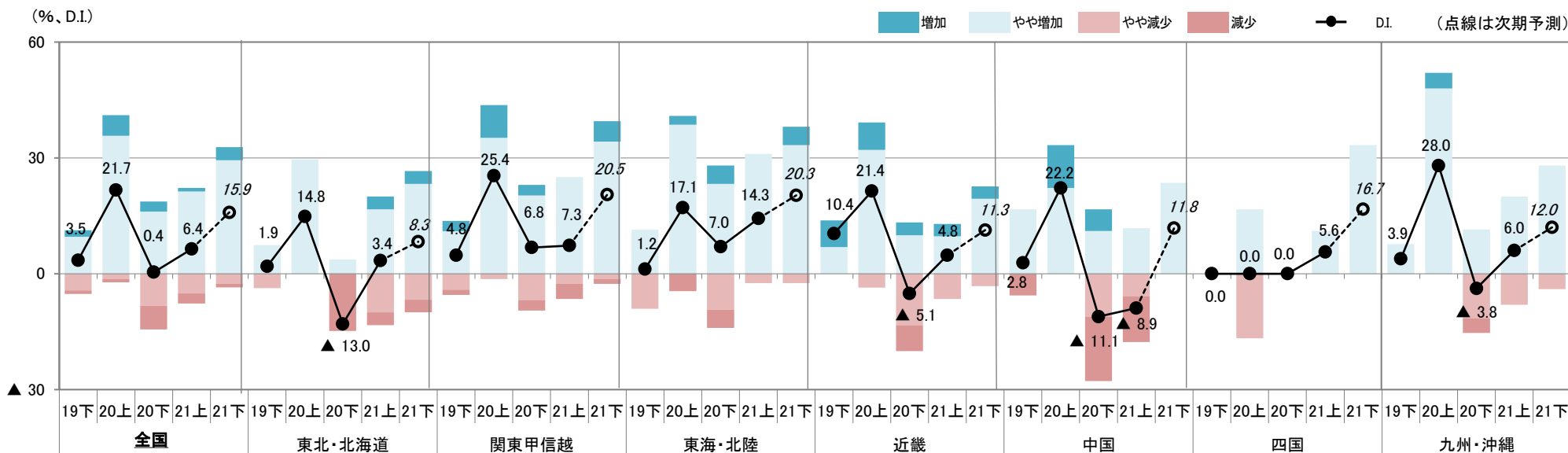
## 2. 信用保証付貸出D.I.の推移【地域別】



### 3. 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移【地域別】

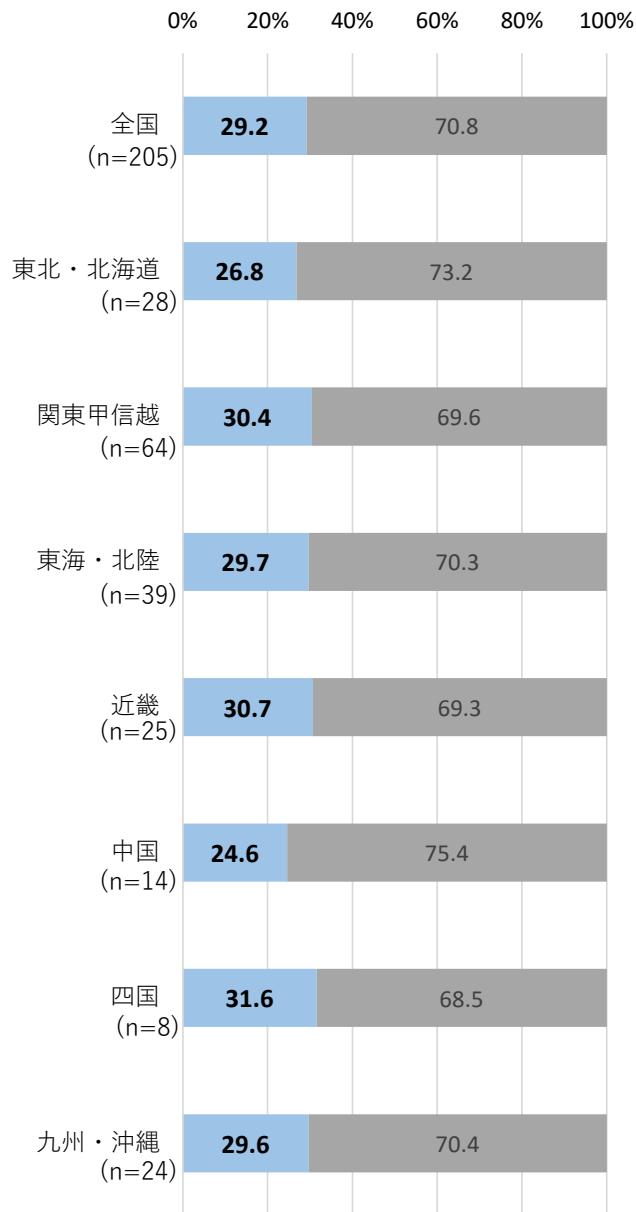


### 4. 代位弁済D.I.の推移【地域別】

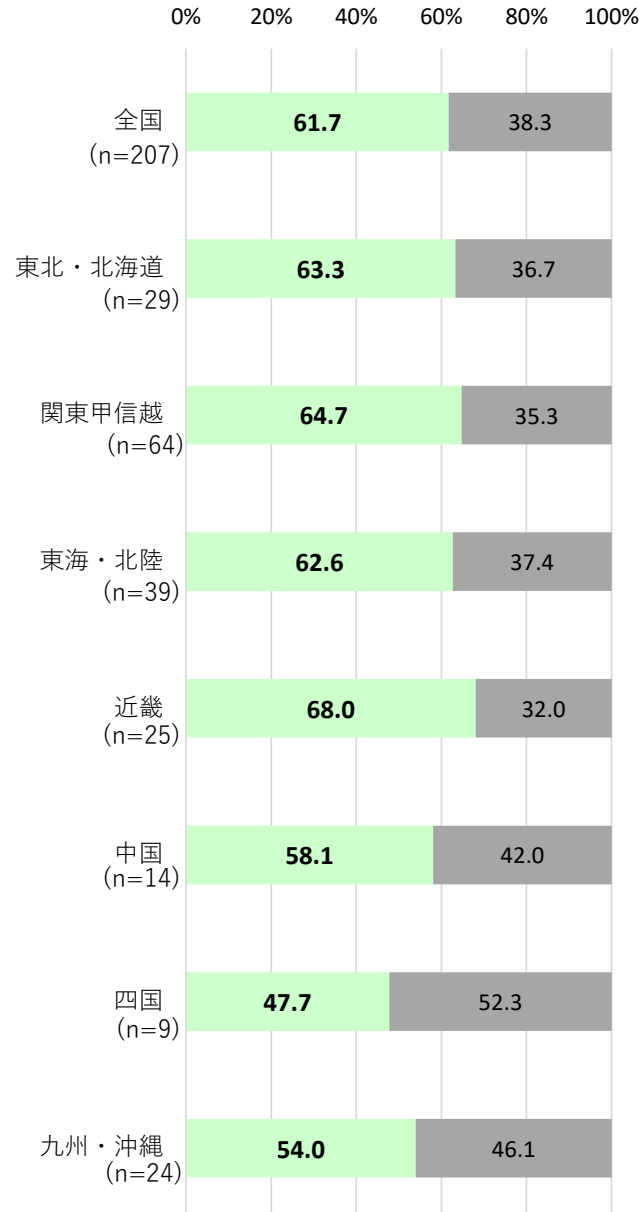


1. 2020年度下期の中小企業に対する融資状況

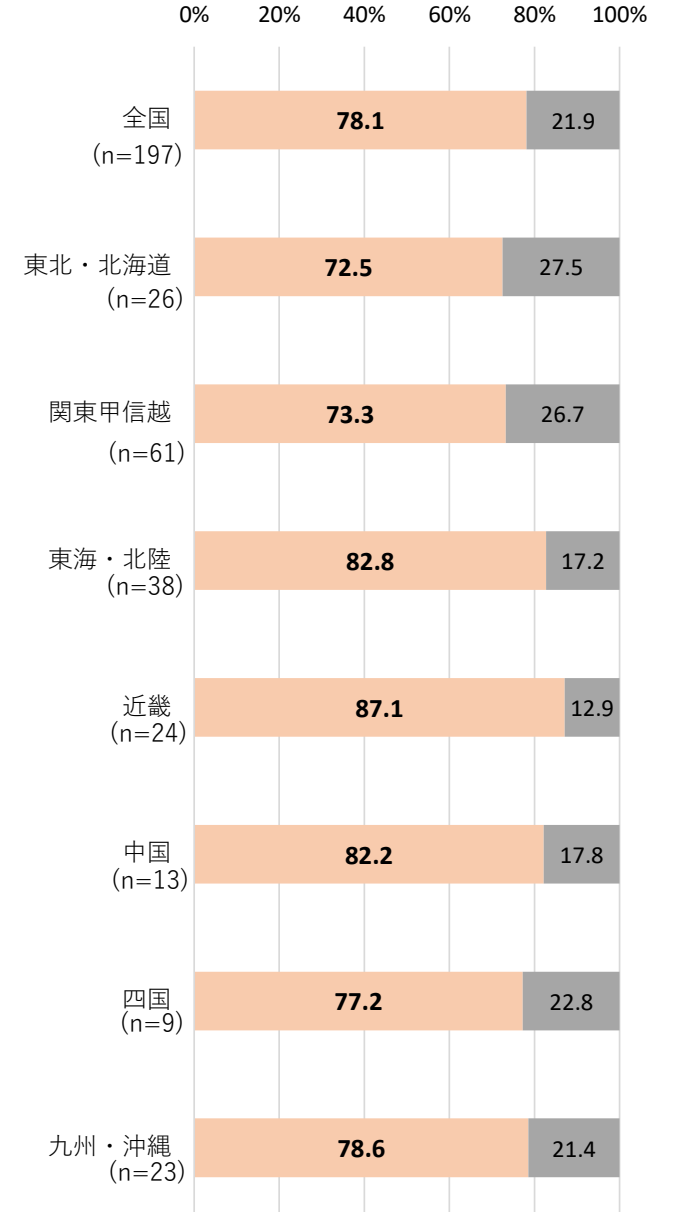
(1) 2020年度下期末時点において取引がある企業のうち、当期内に融資を行った企業の割合



(2) 2020年度下期に融資を行った企業のうち、保証利用企業の割合

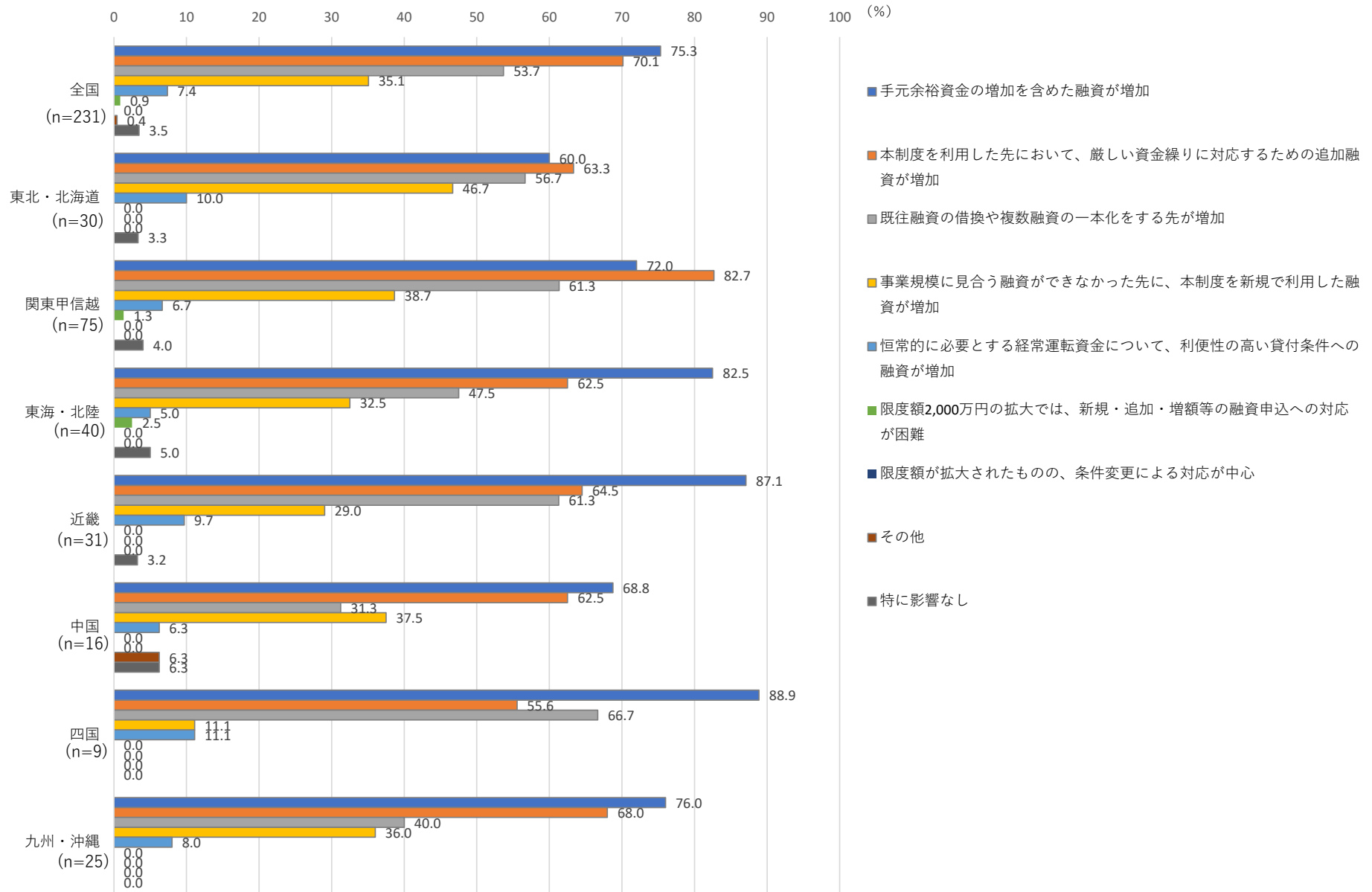


(3) 2020年度下期における保証利用企業のうち、「新型コロナウイルス感染症対応資金」を利用した企業の割合



1. 2020年度下期の中小企業に対する融資状況

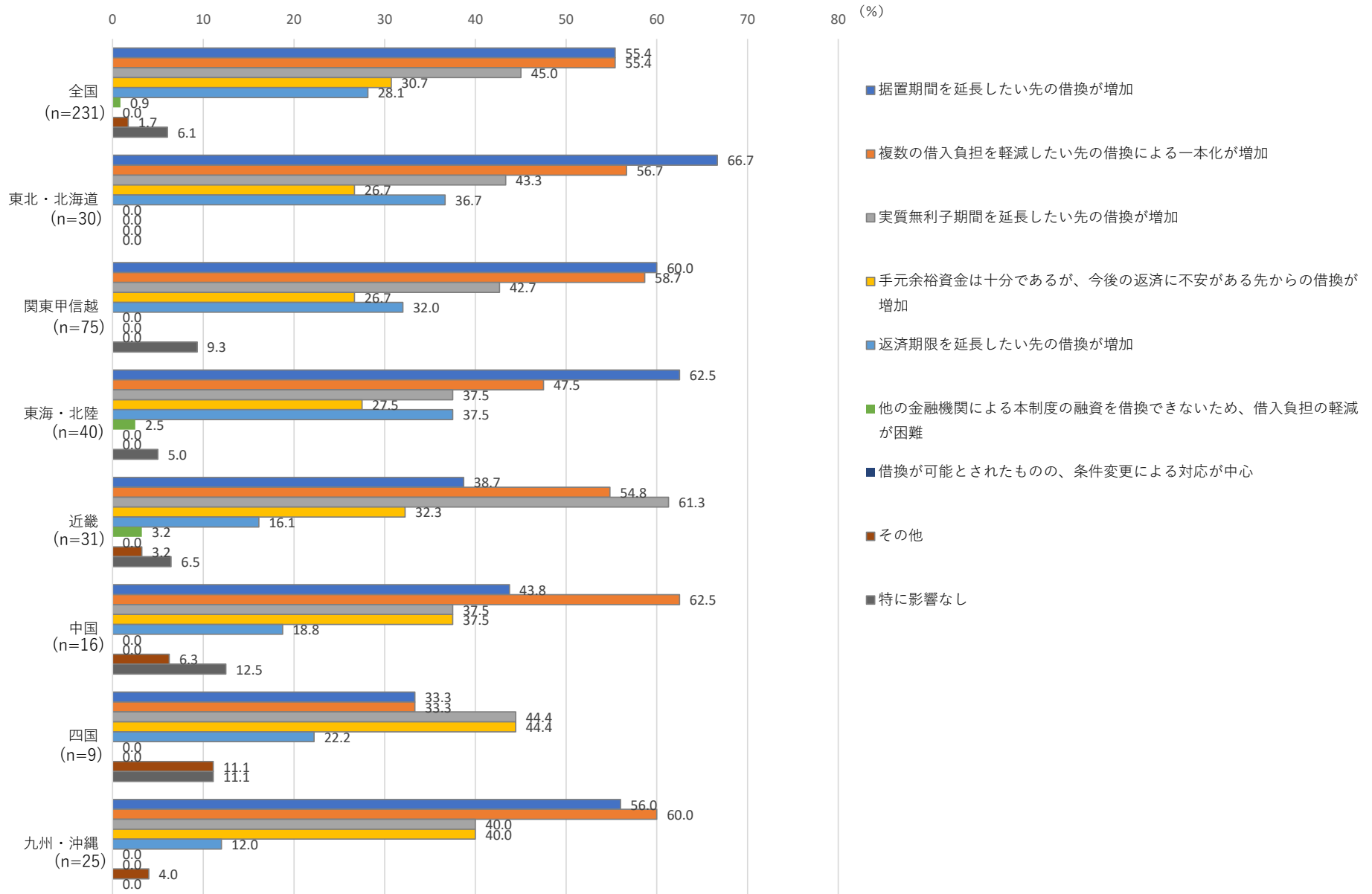
(4) 新型コロナウイルス感染症対応資金」の借入限度額拡大による影響



(注) 複数回答 (3つまで回答可) のため、合計は100%を超える。

1. 2020年度下期の中小企業に対する融資状況

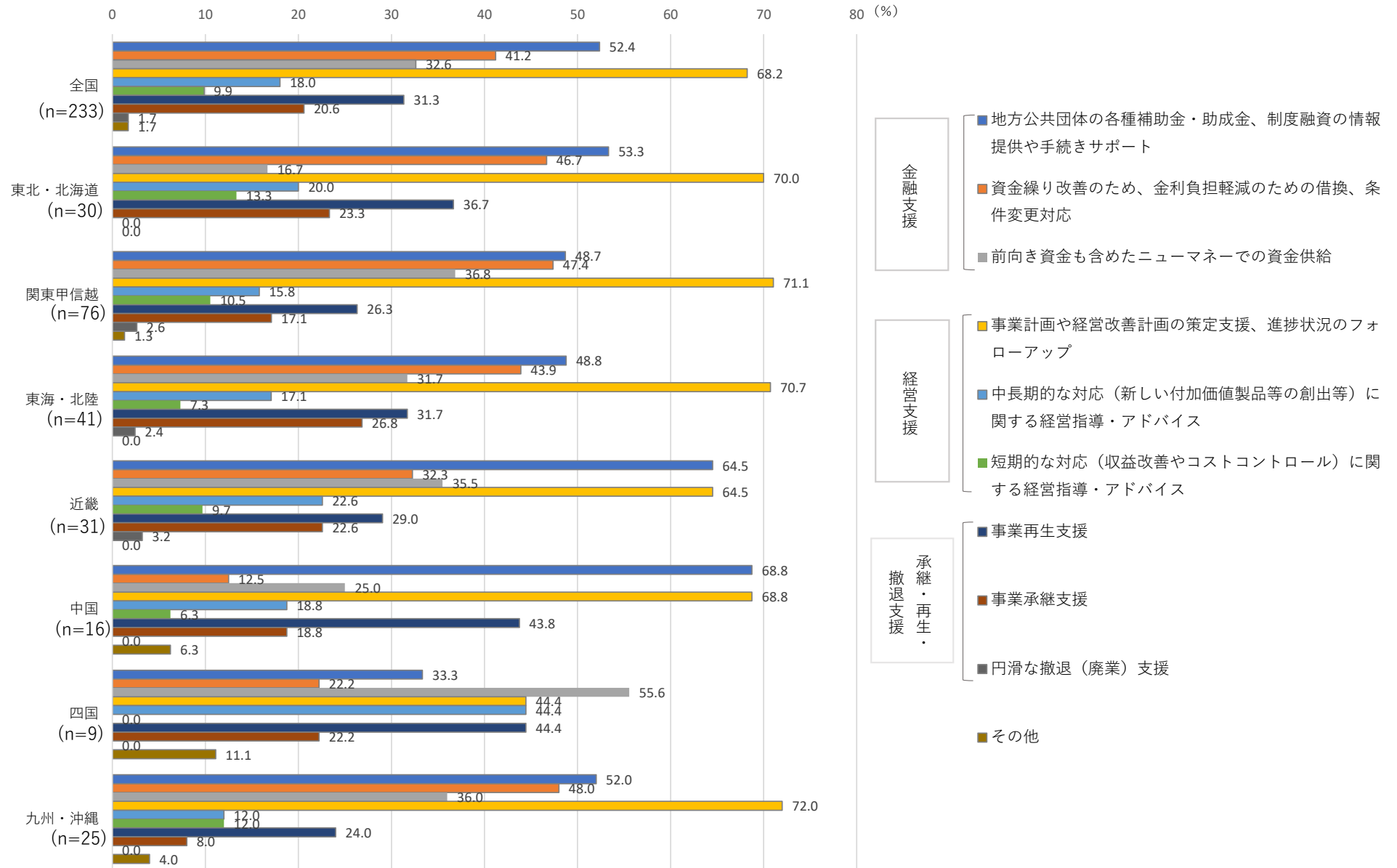
(5) 「新型コロナウイルス感染症対応資金」に係る借換要件緩和による影響



(注) 複数回答 (3つまで回答可) のため、合計は100%を超える。

## 2. 中小企業に対する経営支援等について

### (1) 今後、特に取り組み強化を図っていく予定の金融・経営支援策

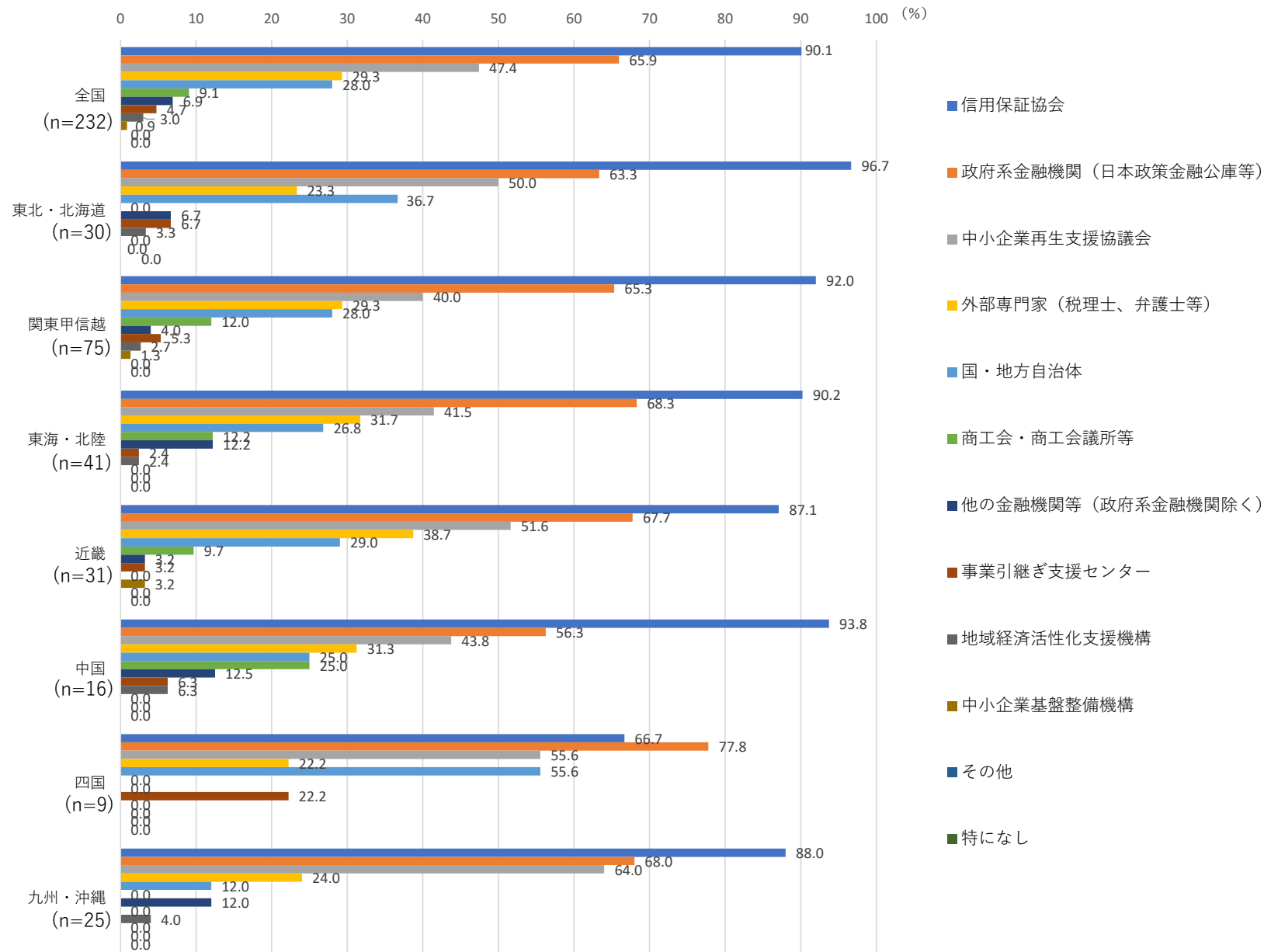


(注) 複数回答（3つまで回答可）のため、合計は100%を超える。



2. 中小企業に対する経営支援等について

(2) 金融・経営支援を行う際に、特に連携が必要であると思う関係機関等



(注) 複数回答（3つまで回答可）のため、合計は100%を超える。